

決算特別委員会を開催

令和元年度の事務事業を慎重に審査

議会は、令和元年度一般会計ほか7特別・3企業会計の決算等を審査するため、9月30日・10月1日・5日・6日・8日の5日間にわたって決算特別委員会を開催しました。

同委員会では、社会保障関連経費の増大に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気等の悪化で市税収入の厳しい状況が続くと予想される中でも、本市のまちづくりを進めなければならないために、これまで以上に安定した財政運営が求められることを踏まえ、各事務事業に対する質疑が行われました。

- 決算特別委員会委員
- 委員長 前田 富枝
副委員長 上野 尚子
委員 加藤 尚子、松岡 幸子、堤 映仁、番匠 美佳、奥野 佳子、岡野 佳子、岡野 佳子、鍛冶 知宏、小池 晶子、小原 明子、大地 正人、大丹 正人
- (議席番号順)

各会計別決算額

区分	歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支	
				*1 実質収支	*2 前年度実質収支
一般会計	138,121,502	135,607,232	861,740	1,652,530	1,565,557
国民健康保険	41,913,649	41,571,997	0	341,652	735,104
土地取得	44,423	44,423	0	0	0
自動車駐車場	99,833	267,595	0	▲167,762	▲228,637
財産区	76,480	76,480	0	0	0
介護保険	32,802,131	32,296,090	0	506,041	479,177
後期高齢者医療	6,484,758	6,420,514	0	64,244	298,490
母子父子寡婦福祉資金貸付金	77,936	75,493	0	2,443	14,772
企業会計					
水道事業	6,574,294	5,204,645		1,369,649	1,321,454
病院事業	10,035,291	10,065,149		▲29,858	▲30,181
下水道事業	12,537,095	10,701,548		1,835,547	1,946,783

*1 実質収支は、歳入から歳出と翌年度繰越財源を引いたものです。
*2 前年度実質収支は、実質収支から前年度繰越財源を引いたものです。
*3 純利益は、収益的収入から収益的支出を引いたものです。また、純利益、前年度純利益のマイナス(▲)は純損失です。

厳しい財政状況を 市民生活第一の判断を

公明党議員団 丹生 真人

市債残高が約15億円増加し、将来世代への負担となる懸念があるが、今後の見込みを聞く。また、財政の硬直化を示す経常収支比率は4年連続90%以上で、中核市平均よりも高い状況だが、改善に向けた取組を聞く。

厳しい財政状況を踏まえ、行革効果額を基金に積み公約施策に使うのではなく、市民生活に不可欠な現在の事業に使う判断も必要と意見する。答弁 市債残高は令和7年度まで約15億円の増加が見込まれるが、その後は徐々に減少が見込まれている。また、市債の繰上償還等とともに行財政改革プラン2020での課題に着手し、経常収支比率の改善を図る。

立憲改革プランにおける市債の削減計画の実績は、令和元年度から本格的に削減された。市立ひらかた病院の消化器センターの収益を聞く。また、新型コロナウイルス感染症拡大前に行った改革プランの中間検証結果を聞く。



市立ひらかた病院の消化器センター

入館者増加に向け 鍵屋資料館 駐車スペース確保を

公明党議員団 一原 明美

枚方市鍵屋資料館では、令和元年度に伝統文化イベントなど様々な取組をしたというが、入館者数に結びついていない。入館者増加への課題や取組を聞く。

なお、枚方市地区へ団体客を誘致するためにも、観光バス等の駐車スペース確保の検討を要する。答弁 具体的な取組の実践が課題と考える。そこで、年間入館券の発売によるリピーターの獲得をはじめ、淀川河川公園や

淀川資料館と連携した取組のほか、他市資料館との共催イベント等、新たな客層への周知を図る。

自殺予防対策の取組 専門家の相談会実施を 平成31年3月策定の「枚方市のちええる行動計画」に基づき、令和元年度に取り組んだ。新殺予防対策の中で、新たに増えてきた課題を聞く。なお、相談者に寄り添う施策として、専門家に よる個別相談会の実施や



枚方市鍵屋資料館 (写真は企画展の様子)

各種基金への積替え 不執行の状況認識を

連合市民の会 奥野 美佳

令和元年度の財政調整基金で、約19億7261万円の取崩しを執行しないなど、予算編成時の見込みと乖離している理由を聞く。

なお、同基金の残高を確保し災害等に備える点は理解するが、将来に向けた各種基金への積替えが予定どおりに進められなかった状況を認識しておくことが重要であると意見する。

答弁 新型コロナウイルス感染症拡大の兆しを踏まえ、その状況を確認する。



市有建築物保全計画に基づき改修した施設 (写真は牧野生涯学習市民センター・図書館の改修時の様子)

市民ニーズに応え 整備したい公園に

大阪維新の会 枚方市議会議員団 岡市 栄次郎

王仁公園のあり方検討調査結果を、同公園の再整備を進める上で近年増加する様々なニーズに応えるため、市民アンケートを実施したというが、どのようなことが分かったのか。

なお、今後同公園の在り方を精査、検討し、誰もが利用しやすい公園に向け、人気スポーツ施設の整備の実現を要する。答弁 集計した結果、市民が求める新たな施設として、屋内プール、カフェ、改修すべきと考えるが、

市内企業若者雇用推進事業は、企業と若者求職者のマッチングにより優秀な人材の確保につながるとして、企業ニーズは高い。しかし、面談実績が少ない年度もある。事業内容なども含め、改善すべきと考えるが、



王仁公園

所管体制強化の検討と 国や府へ支援の要望を

連合市民の会 番匠 映仁

令和元年度における感染症発生動向調査費の手数料について、前年度決算の約60万円から約270万円へと増加した理由を聞く。

なお、私たちの生命と直結している保健所を守るため、今後も増える新型コロナウイルス関連業務に対応できるように、市内でしっかり運営体制について検討、調整するとともに、職員の間で業務負担に偏りが出ないよう、令和元年度の進捗状況と取組を聞く。なお、完成は交通渋滞を軽減する。

京阪本線連続立体交差事業実施後のイメージ (写真は走谷1・2丁目、北中振1丁目付近)



京阪本線連続立体交差事業実施後のイメージ (写真は走谷1・2丁目、北中振1丁目付近)

親等 日常生活支援事業 周知の徹底を

大阪維新の会 枚方市議会議員団 小池 晶子

ひとり親家庭等日常生活支援事業等に関する周知の徹底を、令和元年度の利用実績となるよう取組を進める。なお、安定した事業となるよう取組を進める。

子どもいきいき広場 コーディネーター確保を 子どものいきいき広場の参加児童数の減少要因の一つとして、コーディネーターの成り手不足が考えられる。令和元年度は、それを踏まえた市の考え方を聞く。

なお、事業実施に当たっては、地域任せでなく、市として積極的なアプローチを行うよう要する。

答弁 風や感染症対策の影響による実施日数の減に伴い、コーディネーター等は前年度より減少した。事業目的を念頭に、引き続き、コーディネーター等の確保をはじめ、効果的なプログラムを行うよう支援する。



ひとり親家庭に関する相談の様子 (写真は子どもの育ち見守りセンター)

用語の解説

2・3面

*1 財政調整基金：年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金のこと。財源に余裕のある年度に積み立てを行い、災害の発生など不測の事態による支出増減の補填、緊急性の高い大規模な建設事業の経費等に充てる。

*2 P.F.S. (Pay for Success)：地方公共団体等が民間事業者と委託等する事業において、解決すべき課題に対応した成果指標を設定し、支払額等を当該成果指標の改善状況に連動させるもの。いわゆる成果連動型民間委託契約方式。

*3 ひとり親家庭等日常生活支援事業：ひとり親家庭及び寡婦を対象にヘルパー(家庭生活支援員)を派遣し、子どもの見守りや家事等の生活援助などを行う事業のこと。同事業は、一時的なけがや病気、時間外勤務出張等で日常生活に支障がある場合に利用でき、事前相談と利用登録が必要となる。

*4 臨時財政対策債：地方交付税の不足額を補うため発行される地方債のこと。償還費用については、後年度に地方交付税で措置される。

点字議会報・声の議会報を発行

目の不自由な方に議会の活動を知っていただくため、「点字議会報」と「声の議会報」を発行しています。送付を希望される方は、市議会事務局までお申し出ください。また、「声の議会報」は市議会ホームページでもお聞きいただけます。

声の議会報はこちらから